

J **apanese text**

2016年 秋/冬号 日本語編

文具

気持ちが伝わる紙文具の進化

撮影=西山 航 文=編集部 スタイリング=横瀬多美保
カリグラファー=鈴木泰子 協力=高畑正幸

p.052

手紙ほどでもない、小さなメッセージのやりとりを楽しむのが得意なこの国では、そんなニーズに合った文具の開発も盛ん。見た目はもちろん、素材や加工のうんちく、渡すときのアイデアまで、あなたのコミュニケーションを楽しくさせるヒントがいっぱい。今すぐ誰かに気持ちを届けてみたくなる。

●かみふうせん・くも

和紙で有名な岐阜県美濃地方で生まれた、ユニークな形の紙風船。紙風船そのものや付属の三角の旗にメッセージを書いて渡してみよう。ストローで膨らませれば、立派な雲の出来上がり。贈られた気持がふんわりと膨らむ。付属のシールと紐を使って部屋に吊るすのもおすすめ（1枚入り・1200円）。／kamimino

www.kamimino.jp

言葉以上のものを伝える紙

文=高畑正幸

p.054

日本の文房具は、世界的に見てもその質の高さではトップクラス。種類の豊富さ、新商品の開発ペースについては、群を抜いていると言っても過言ではありません。世界からアニメなどが注目されていますが、文房具もまた、世界に誇れるクールジャパンです。中でも小さなメッセージを伝える小さな紙製品のバリエーションの多さは圧倒的です。

日本では小さなものには総じて「かわいい」というポジティブなイメージがあり、小さく精緻なデザインの製品は好まれますし、大きすぎないことは、相手よりも自分を大きく見せない謙遜の意味も含まれます。また小さいことが、カジュアルなメッセージであるという意味合いに使われることも多くあ

ります。

ちょっとした御礼やお祝いのプレゼントに短いメッセージを添えたり、オフィスの伝言や書類のやり取りに依頼文や説明を加えたり、長文の手紙を書くほどでもない小さなコミュニケーションで使用する簡単な付箋やメモなどの製品に、驚くほど多くのアイデアや気配りがあります。

その工夫は、外観のデザインの面白さはもちろん、デザインされたモチーフの持つ意味や、ユーモア、紙の特性を利用した仕掛けに至るまでさまざま。日本は単一民族国家として発達したために文脈を使いこなすコミュニケーションが得意と言われることがありますが、こういった工夫のある紙製品を使うことによっても書いてある言葉以上の気持ちを伝えることができます。

こうしたものがたくさん生まれる背景には、ユーザーが楽しんで使いこなす文化の醸成が必要です。これには、江戸時代にはすでに寺子屋の普及により平民の子供にまで教育が普及していたことや、^{こうぞ みつまた かんび} 楮や三桧、雁皮など、比較的栽培が容易な植物から作られる和紙が豊富に生産されていたことなども無関係ではないでしょう。日本の文房具は昔から、特別な階級の独占的なものではなく、全ての人に開かれたコミュニケーションツールでした。だからこそ今でも、安価で可愛らしい小さな文房具が、溢れているのだと思います。

高畑正幸（たかばたけ・まさゆき）

1974年香川県生まれ。人気テレビ番組「TVチャンピオン」全国文房具通選手権に出演、3連続で優勝し、以来「文具王」の通称で人々に親しまれる。企画した文具が数々の賞を受賞。文具の歴史を調査・保存し、未来に繋ぐことをライフワークとしている。著書に『究極の文房具カタログ』（河出書房新社、2015年）、『一度は訪れたい文具店&イチ押し文具』（玄光社、2014年）ほか多数。

bungu-o.com

● memoterior

「触感を楽しむ」がコンセプトの、しっかりした厚みのメモ用紙。質感が違う5種類の紙を、20枚ずつ一冊のメモパッドにまとめている。左2枚（p.54）は凹凸のある「deco/boco」（500円）より。右2枚（p.55）はさまざまな透け感の紙を集めた「suke/suke」（600円）より。ほかに粗

い質感の「zara/zara」(500円)、するするとなめらかな「sara/sara」(500円)の全4種類(各13.2×9.1cm)。手触りはもちろん、筆記感の違いを楽しめる。一回り小さい「小(12.5×7.5cm)」は、いわゆる情報カードサイズで使いやすい。

● POPit memo

薄手のフィルム付箋。吹き出し部分に好きな言葉を書き入れ、あらかじめ影がプリントされたシール部分を貼ると、不思議な立体感を伴って目立たせられる。シールは貼ってはがせるタイプ(10枚入り・価格未定)。9月末発売予定。／全て kamiterior
 kamiterior.jp
 info@kamiterior.jp

素材で伝える

p.056

素材選び、それは日本人にとってメッセージを伝えるうえで最も基礎となる部分。どんな質感の、どんな色の、そしてどんなストーリーのある紙を選ぶのか。人々はメッセージを送る誰かの顔を思い描いては悩む。ここ数年、そんな紙の素材にも変化が起きている。

従来は繊維が多く、チップ用に切削するには硬く、かつ空洞が多くて非効率とされていた竹の、本格的な商用利用の開始。洗濯しても大丈夫な紙を利用したメッセージメモの登場。高級でおいそれと使いこなせないイメージのあった和紙のフレンドリーな展開など、我々のメッセージカードをとりまく環境はどんどん広がりを見せている。

また今回は紹介できなかったが、水と折れに強く書きやすい「ユボ」紙や、圧をかけた部分だけ透明になる「バチカ」など、さまざまな特徴をもつ新しい素材の紙が開発、活用されている。あなたの気分にぴったり合う素材はどれだろう。

● MEETS TAKEGAMI (ミーツタケガミ)

100%国産の竹から作った竹紙は、しなやかでやさしい風合いをもち、墨がにじみにくい。品質のよさもさることながら、国内で問題となっている放置竹林に対するソリューションとしても、今注目を集めている。MEETS TAKEGAMIは、そんな竹紙とデザインチーム minna のコラボレー

ションから生まれたペーパーブランドだ。

積み上がった「MEMO TOWER」は、竹の一節をかたどった筒型のパッケージの中に、竹をイメージした柄6パターンのカードが350枚入っている(2000円)。色は白が美しい「竹紙100 ホワイト」(手前)と、生成りの「竹紙100 ナチュラル」(写真奥3段重ね)の2種類。笹の葉のような糊つき付箋「STICKY」(30枚入り・700円)も活用すれば、気分はさながら竹林の中。ほかにも独特の風合いをもつノートや短冊など、多彩なラインナップを揃え、また印刷物の紙としても活用されている。／MEETS TAKEGAMI 中越パルプ工業
 meets-takegami.jp

● ボールペンで書ける和紙便箋

大阪の老舗和紙卸商「オオウエ」が、全国数百種類もある和紙の中から、ボールペンで書くのに最も適した紙を選び抜いた。「ふんわり」「なめらか」「しつかり」と、3種類の書き心地が用意され、自分の筆圧や相手の好みに合わせて選べる。和紙の風合いと活版印刷で描かれた罫線の相性は抜群。写真は一筆箋として使いやすい小サイズ(20枚入り・320円)。透かし色の美しい封筒(小4枚入り・350円)は、綺麗なだけでなく、中の文字が透けないようにとの配慮も。ほかにも大判の便箋(370円)や活版を活用した和紙シール(230円)もかわいらしい。／株式会社オオウエ
 www.off-web.jp

● TAGGED Gift tie

洋服につけられるクリーニングのタグ、実はタグごとクリーニングされているということをご存じだろうか。ただの紙ではない。洗濯に耐える「耐洗紙」という紙でできている。その素材を活用して、水濡れにも強いギフトメモを作ってしまった。しかもクリーニングタグと違いホッチキスなどで留める必要はない。紙の切れ込みに仕掛け部分を差し込んで展開するだけで、簡単にはほどけない素敵なメッセージカードができあがる。葉のバリエーションのほかに、パタフライ型のものも。2色16枚入り・600円、今秋発売予定。／ハイモジモジ
 www.hi-mojimoji.com
 info@hi-mojimoji.com

技で伝える

p.058

近年の印刷技術や紙加工技術の革新には目を見張るものがある。高精細出力による階調表現の豊かさはもちろん、より薄い紙や厚い紙、あらゆるものへの印刷が可能になった。レーザーカット加工では、かつての型抜きでは実現できなかった細かな切り抜きができるようになり、断裁や糊付けの技もどんどん進化している。世界的に見ても高い印刷・加工技術を駆使した製品の一端を紹介しよう。

●添景シリーズ

建築模型に時折添えられる 1/100 サイズの人型、そこから着想して 1 枚のシートでひとつの情景を描けるようにとデザインされたのがテラダモケイの 1/100 添景シリーズ。模型用という枠を超え、テニスをする人、温泉につかる人、結婚式を挙げる人など、あらゆる生活シーンを描き出す。写真後ろは No.67 ドッグラン編 (1500 円)、手前は No.6 ありがとう編グリーティングカード (552 円)。折りの加減で、向かい合う二人を抱き合わせたりといった微調整が可能。この細かいカットには最新のレーザーカット技術が大きく貢献している。／テラダモケイ
www.teradamokei.jp/en

●PEN&DELI MEMO PAD for GIFT

本物と見紛うばかりのおいしそうなおべろ型のメモパッド。特筆すべきはおべろの立体感そのままにカットした、断面の美しいカーブ。特許も取得した断裁技術のたまもの。写真は上から「BAGEL / OAT BRAN」、
「BAGEL / PLAIN」(各 1000 円)。ほかにパンケーキやピザ、おにぎりにクラッカーとおいしそうなおべろのぞろいでギフトにもぴったり。／PEN&DELI
www.pendeli.jp/en
(今号の読者プレゼントはこちら。詳細は p.65 へ)

●テープ黒板

粗めの和紙で作った、貼ってはがせる、書いては消せる黒板状のテープ。付属のチョークは通常のチョークよりも細く、鉛筆とほぼ同じ太さ。手動の鉛筆削りで削れば、より書きやすい。写真は 30mm 幅の黒・緑 (ともに 900 円・お試し白チョークとチョークホルダー 1 本付き)。ほかに 18mm、50mm 幅もあり。別売りの「もっと小さな黒板拭き」(480 円) もかわいらしい。／日本理化学工業
www.rikagaku.co.jp

●色柄薄紙

印刷時に使用する水を極限まで減らすことで、紙の変形やインクの劣化を限りなく軽減し、難しいと言われる 0.04mm 厚の薄紙にも、これほど鮮やかでかわいらしい柄を刷ることが可能になった。メッセージのほか、ラッピングにも活用できる。3 柄入った写真の「シルバーパッケージ」のほか、計 4 種類。600 × 440mm、3 柄・各 2 枚入り・550 円。9 月下旬発売予定。／吉田印刷所 株式会社ノンブル
nombre.ocnk.net

渡し方で伝える

p.059

メッセージの贈り方は大切だ。自分が贈りたい気持ち、双方のタイミング、相手の受けるであろうインパクト……。くすりと和ませたいのか、あっと驚かせたいのか。どんな形のカードに、どんな仕掛けをこらそうか。ここではそれを使うだけで自分も相手も楽しくさせてくれる、素敵なお品をご紹介します。

●Hana-kotoba Bouquet

平たい花形のカードにメッセージを書いて折り上げると、パールピンク色の立体的な花へと姿を変える「Hana-kotoba Bouquet」(10 枚入り・1800 円)。一輪だけでも美しいが、みんなのメッセージが集まると大きなブーケとなり、圧巻。写真のようにオリジナルのバスケットを作ってワイヤーで留めたり、自分たちで花束状に仕立てるのもよい。オンラインで購入できる 20 名分の花とカゴがセットになったバスケットセット (3800 円) も便利。／Replug
www.replug.jp

●紙の葉 イチョウ

国内最高峰の大学、東京大学の校章はイチョウ。そのイチョウ並木から採取した葉を元に、葉脈までエンボスした紙製の葉っぱ。写真のようにメッセージとともにお菓子の箱に忍ばせても、封筒の中に入れても、香りをつけて贈っても、やさしい手触りの白い紙に、無数の使い方が頭をよぎる (1 シート 5 枚入り・600 円)。ほかにブドウの葉 (4 枚入り・480 円) と、桜の葉 (28 枚入り・1000 円) もあり。／MABATAKI NOTE
www.kamigu.jp

(P.060)

● THANKS! MEMO

笑ったように見えるのがチャーミングな、顔のかたちをしたメモ。口に見立てた穴に、ちょっとしたアメやお菓子はさむことで、自然とデスク上でメモが立ち上がる。もらった側も笑顔になる秀逸なデザイン。文字だけでなく自分や相手の顔を描きこむのもいい。写真のイエローのほか、グリーン、オレンジもあり(50枚・450円)。／ペーパーブル 株式会社山越

paperable.jp/thanks-memo

info_pr@paperable

● 香りのワークブック

メッセージと一緒に香りを贈る「文香」^{ふみこう}の文化を今に伝える商品。ローズ、シトラス、ウッディムスクなどの7つの香りのジャーが用意され、自分で自由に調香できる。備え付けの小さな耐油紙の封筒(写真)に塗りつけて封をすれば完成。オリジナルの文香をメッセージとセットで送れば、相手に自分を深く印象づけられる(ミニ封筒10枚、木のスティック1本、ブックレット1冊付き・2500円)。／ココヨ株式会社

www.kokuyo.com/en

Tel. 0120-201-594

● ku・ru・ru (co-neko)

細長い紙片にメッセージを書いてくるりと丸め、切り込みに紙を差し込むと、さまざまな形の立体的な結び文となる。メモ自体が自立し、ひときわ存在感を放つオフィスメモに。子猫(30枚・800円)のほかに、愛らしい動物シリーズ、浮世絵や富士山などが立体になる「Japan」シリーズ、スポーツの名場面シリーズまで幅広い。／kamiterior

kamiterior.jp

info@kamiterior.jp

● KIMOTIP (キモチップ)

チップの風習がない国で生まれた、言葉をチップとして渡す気の利いたカード。日付や一言欄もあり、コミュニケーションのきっかけとしても最適。写真の「ご馳走様でした」バージョンのほかに、「有難うございました」、「美味しゅうございました」、さらには県ごとの方言バージョンもあり(50枚・340円)。／ハイモジモジ

www.hi-mojimoji.com/kimotip

info@hi-mojimoji.com

強力なパートナーたち

p.061

紙にとどまらず、筆記具の進化も止まらない。なかでも気持

ちを伝えるのに最適な、カラフルな筆記具を今回は集めてみた。あらゆる色を駆使してカラフルに仕上げるのか、一色だけを効かせてファッショナブルに見せるか。メッセージに合わせて使い分けたい。

● フリクションいろえんぴつ

摩擦熱で筆跡がいとも簡単に、しかも美しく消えると大評判の FRIXION シリーズ。ボールペンをこすじの方も多いと思うが、色鉛筆でもその性能は変わらない。上部のラバーでこすれば、はみ出そうが色を間違えようが心配で無用(1本100円、12色セット・1000円)。／パイロットコーポレーション

www.pilot.co.jp

● 透明くれよん

水彩のような透明感をもつ不思議なクレヨン。下の線が透けて見えるので、メッセージの上から塗ることも可能。オイルゲルを使用し、見た目の美しさだけでなく、するすとしたなめらかな書き味も魅力。写真は10色セット(1800円)より。ほかに5色セット(900円)もあり。／ココヨ株式会社

www.kokuyo.com/en

Tel. 0120-201-594

● ZIG メモリーシステム ウィンク オブ ステラ ブラッシュ

描いた字や線がキラキラに輝く筆ペン。細かいラメを大量に含み、それでいて詰まることのないさらりとした書き心地。グリッターペンにありがちな乾き待ちの時間もほぼ不要。写真は左から GL.RED、GL.GREEN、GL.GOLD。ほかラメのみのクリアタイプや、珍しい黒ラメも含め国内版は全9色、海外版は全16色(国内版1本380円)。／Kuretake

www.kuretake.co.jp/en

Tel. 0742-50-2055

● 顔彩耽美スターリーカラーズ

金色だけで6種類も集まった固形絵の具。左から青金色^{あおがねいろ}、赤金色^{あかがねいろ}、黄金色^{こがねいろ}、桃金色^{ももがねいろ}、淡金色^{あわがねいろ}、白金色と並び、金色の幅の広さに驚かされる。黒など濃い色の地にも美しく発色。通常の筆のほか、同社の「水筆ペン」などを使用することで、より気軽に楽しめる(6色セット・1200円)。／Kuretake

www.kuretake.co.jp/en

Tel. 0742-50-2055

もう一工夫でもっと素敵に ——折り紙

p.062

素敵な紙を折ったり切ったり貼り付けたりといった一工夫で、あなたのメッセージはぐっとグレードアップする。

たとえば折り方。折り紙は、なにも正方形の紙を折るためだけのものではない。ここで紹介する簡単な「シャツ」は、メモ用紙などの長方形を活かして折れる折り紙のひとつ。かわいらしいだけでなく、中のメッセージを他人に読まれない利点も兼ね備えている。学生がメモを渡し合う際に広く普及した技だが、大人にもぜひ活用してみしてほしい。

1. 長方形の便箋を縦に置き、中心に折り目をつけて再び広げる
2. 中心線に向かい、両端を半分に折る
3. 便箋を裏返し、上1cmを手前に折る
4. 便箋を表に戻し、上部の両角を中心線に向かって三角に折り、襟をつくる
5. 便箋の下辺を襟の始点に目かけて半分に折り、折り線をつけて戻す
6. 戻した下部を、折り線部分から図のように開く。再び襟下に折り込んで完成

● Memo block 5 × 50

美濃和紙の伝統技法と最新技術、さらにアーティストのたかはしひろこ高橋理子さんのデザインが融合して生まれたメモブロック。模様だけの紙と無地の紙を、同時に抄きながら一枚に合わせるといった高度な技法で作られ、なめらかで薄く、しかし丈夫。5種類の透かし柄が各50枚、計250枚入っている。シャツを折るのにぴったりなMサイズ（1800円）のほか正方形のSサイズ（1400円）、横長のLサイズ（2600円）も。／古川紙工
www.furukawashiko.com

● レディメイドのシャツを折る

なんと既に折り線ガイドがついた商品もある。その名も「おてがみメモ」。中はシンプルな方眼でメッセージが書きやすく、裏面のガイド線に沿って折るだけで素敵な柄のシャツが完成する。ここで紹介しているよりも難しい折り方のシャツが出来上がるので、ぜひ挑戦してみしてほしい。1冊にピンク系と青系の2色、各30枚入り（200円）。同シリーズにはほかにネコやハート、リボン型に折れるものなど6種類。／midori
www.midori-japan.co.jp/english

切り絵

p.063

今号の表紙にも登場した「切り絵」。黒の厚紙を図案に密着させ、不要部分をカットして絵柄を起こしたものである。完成後はカードに貼ったり、それ自体をアート作品として額に入れたりとさまざまな活用方法がある。一見難しく見えるが、丁寧に取り組みれば自分でも驚くほど素敵な切り紙ができあがる。シンプルなメッセージカードも、手作りの切り絵を貼って素敵に変身させたい。

● 『切り絵作家 garden の切り絵で作る浮世絵』

「富嶽三十六景」「東海道五拾三次」などの風景画、「見返り美人図」をはじめとする美人画、写楽の役者絵などの傑作のほか、歌川国芳の愛らしいネコたちや「北斎漫画」からのモチーフ図案ももりだくさん。計205点の多彩な図案を、カッターひとつで簡単に切ることができる。／朝日新聞出版刊

(P.064)

1. 画用紙、図案のコピーのほか、カッティングマット、カッター（あれば30度の鋭い刃が使いやすい）、はさみ、図案を画用紙に固定するテープを用意。ほかにピンセットなどがあると、切り終えた紙を抜き取りときや貼り付けるときに便利。
2. 好きな図案をコピーして、画用紙（黒以外の紙でも楽しい）に固定する。このとき、小回りがきくように余白をはさみで切り落としておくこと。拡大コピーすると初心者でも切りやすく、縮小すればさらに繊細さが際立つ仕上がりに。
3. 図案の線に沿って、カッターで切り抜く。内側の細かい部分から切り始めるとよい。腕に力が入りすぎないように、すっと切るのがポイント。
4. 細かい模様を切り抜くときは刃を立てて、内側から先に、少しずつ紙を回しながら切り抜く。
5. とがっている部分は、先端に向かって切る。切った先端が作業中に折れないよう、終盤に切るのがおすすめ。
6. 最後に輪郭を切る。直線や長めの曲線は、カッターの刃を手前に傾けてゆっくり引くと切りやすい。

紋切り遊び

江戸時代に始まる紙切り遊び「紋切り」は、紙を何度か折って型通りに切るだけ。開いてみると、不思議と美しい形が完成している。カードに貼ったりはさんだりすることで、文様の意味も添えた美しい贈り物になる。

● 『紋切り型 紙あそび歳時記 咲く』

掲載の山桜の型をはじめ、16の花咲く紋切り作品が勢ぞろい。日本の伝統的な紋章の花を切り出すのにぴったりな薄い和紙と、カードにもなる厚紙もセット。／エクスプランテ刊
monkiri-gadget-boox.tumblr.com
u-yu@yj8.so-net.ne.jp

1. 正方形を三角に折り、さらに中心線をつける
2. このガイドに合わせ、左手の三角が 36 度になるように折る
3. 上になった部分を半分折り返す
4. 裏返して②、③を繰り返す、型紙に合わせて切る